

JSCA 指導者検定会 教養・基礎課程北九州会場 報告書

- 実施日 教養課程 2018 年 11 月 26-27 日
基礎課程 2018 年 11 月 28-29 日
- 実施会場 (教養) 北九州市立玄海青年の家
(基礎) 頓田貯水池、北九州市立玄海青年の家
- 主管 有限会社カヌースクール九州
- 担当トレーナー
嘉藤暖博 (BLUE HOLIC) : カヌーギア、技術論、基礎課程
中村昭彦 (一滴 Paddle & Mountain Guide) : 救急法、セーフティ、基礎課程
青木勇 (RAC リバーアドベンチャークラブ) : 総論
西胤正弘 (有限会社カヌースクール九州) : フィールド
- 受験生 教養課程 7 名
基礎課程 9 名 (シーカヤック)

カヤックインストラクター/ガイド 1 単位満了者 7 名
- 研修参加者 公認スクール代表者 5 名
公認スクール所属スタッフ 2 名
一般会員 1 名

■宿泊施設

検定会中は、宿泊者が我々だけだったこともあり、利用環境は良好でした。また、実技検定会場が施設内にあり徒歩での移動も可能なため受験者にも利用しやすい環境で今後も基礎検定を行う上で最高の施設の一つだと思う。

■基礎学科検定

テキストや資料などを事前配布し熟読してもらうことが可能であれば、より、内容の濃い講義が可能になると思う。

単なる知識の配布にするのではなく、カヌースクールの安全な運営に必要な考え方、セーフティ考察力を持ち帰ってもらえる講義を行い、イントラ 2 へつながる講義になればと思う。

■基礎実技検定 1

今回は中村 IT にデモンストレーションして頂いたので問題なく進行したが、デモンストレーション基準を設ける必要もあるのではないかと？ デモンストレーションビデオの作成や、デモンストレーターのチェックが出来てない状態でデモをお願いするのは受験者に申し訳ないと思う。実技後のフィードバックはアンケートでも好評だったが、嘉藤の部分では説明の組み立て方に改善点があったと思う。

■基礎実技検定 2

指導論で指導ポイントのデモなど行ったのだが、イマイチ伝わっていないようなので、どのように見せていくのが今後の課題だと思った。指導実技ではフィードバックのやり方が功を奏したのだと思うが、年々参加者の上達が見て取れるようになってきた。今後も、フィードバック方法について学びたいと思う。

■全体

昨年の基礎検定会も受験者が多かったが、今年も学科検定 7 名実技検定 9 名と多く、JSCA 認知度が高くなっていると思う。今回の検定ではガイド、インストラクター歴の浅い(1~3 シーズン)方の合格も多く、驚かされた。既得インストラクターの指導のたまものだと思う。

ベーシック検定や主催イベントなども JSCA 認知度を向上する要因になっていると思うので活発に開催することが大事だと思った。